



【弘前東一八学光星】4回裏、八学光星1死二、三塁、池田の左前適時打で8-3とリード

光星16安打11得点

弘東投手陣 踏ん張れず

【評】八学光星が16安打で大勝した。2-2で挙げ、試合を優位に進め迎えた三回、長谷、池田、池田。投げては岡本、洗平の本塁打と砂子田の2点の継投で反撃を4点に抑え、四回にも中澤恒の適時二塁打で4点を加えた。弘前東は初回に2点を本塁打や中澤博の2点適先制、四、五回にも1点

ずつ加えたが、投手陣が相手打線を抑えられなかった。

池田4安打2打点活躍

「強打の光星らしき打点の活躍で4強入りに際立った。昨年の秋季大会は、初戦から打てなめた弘前東相手に、計3本の本塁打を含む16安打11得点の猛攻。4安打2打点の活躍で4強入りに際立った。昨年の秋季大会は、初戦から打てなめた弘前東相手に、計3本の本塁打を含む16安打11得点の猛攻。4安打2打点の活躍で4強入り

に緩い球を引きつける打撃練習に取り組んだことで、野呂亮を打ち崩す自信があった。三回2死走者なし、内角の直球を捉えると、打球は風に乗り左中間スタンドへ。四回にも内角に入ったスライターを捉え、左前へ適時打を放つなど、全打席安打の存在感を見つけた。「強打の光星」に憧れ、大阪府枚方市の中学から入部した池田。連覇に向けて「準決勝からは好投手がそろそろ。今日の結果に慢心せずしっかりと振っていきなさい」と前を見据えた。（棟方好華）